

テーマ1 通学途中の児童・生徒の保護と安否確認

- ・冬の平日（月）。朝7時50分。昨晚から降り続く雪。茨城県南部直下型地震発生。
- ・つくばセンター地区で震度6強を観測。市内全域停電発生。固定電話、携帯電話とも通話不能。携帯メール及びインターネットも使用不可。
- ・大雪と地震の影響により、大渋滞に巻き込まれ車で移動中の先生の中には出勤できない者もいる。
- ・児童・生徒の半数は既に小中ともに学校に到着していた。残りの子どもたちの所在は不明。
- ・体育館は被害が大きく使用不可。教室は一部の教室で窓ガラスが飛散しているが、理科室等一部の教室をのぞき使用可。
- ・地震直後、雪の中、教室の児童を校庭に避難させ点呼。雪が降りやまないため余震の状況を見ながら生徒を教室に戻し保護。
- ・怪我や骨折をした数名の子どもは保健室で応急手当を受け、担任教諭数名の自家用車に分乗して病院への搬送。

<時間：08時30分、場所：小学校の職員室、登場人物：校長、副校長、教員A、教員B>

教員A：校長先生、先ほどの校庭での点呼では私が担任している2年1組の生徒35人中15名の安否が確認できましたが。その後5名が学校に登校し安否を確認し教室で保護しました。しかし、残り15名の子どもたちの安否は不明です。

校長：校外で被災した子供の中には、自宅に戻ったり、通学途上の公民館や公共施設、店舗・事業所などで避難している子がいるかもしれません。また、子ども110番の家などの民家で保護されている可能性もあります。自宅に戻った子供の中には、共働き家庭など、保護者が自宅に戻れないことも考えられます。そのような場合は学校で保護してください。なお、登校中の中学生や高校生十数名が本校に緊急避難しています。逆に、我が校の児童が近隣の中学校や高校で保護されているかもしれません。校外の子どもたちの安否確認と保護に全力を挙げてください。

教員B：校長先生。児童の一人が、中学校に兄がいて、そこで両親を待ちたいので、連れて行ってほしいとのこと。どうしたらよろしいでしょうか。

副校長：校長先生。まだ出勤できていない先生もいます。その先生方の安否確認も必要です。怪我をした生徒の付添いで学校を離れる先生もいます。学校で保護している子供たちの避難生活に必要な物資の確保や防犯対策も必要です。電話、携帯電話、メールもすべて使えない状況です。この雪が降る中で自転車も使えません。周辺の道は被害と雪の影響で大渋滞です。校外の子どもたちの安否確認を教職員だけで行うのは極めて困難です。近くにお住まいの保護者や地域の方々に、協力を要請できないでしょうか。

Q1：児童・生徒は、登下校中に被災した際に、どのような避難行動と安否確認を行うように指導されていますか？

Q2：混乱した限界的な状況において、登下校中の児童・生徒の安否確認と保護が適切に行われるためには、
地域（住民、保護者、事業所、他の公共施設、行政など）と学校、学校間で、どのような協力体制や資機材の備えが必要ですか。